

参考資料

I. 随筆

1. 自転車操業的豊かさの行方へ, 化学工学 50(13), 123(1976)
2. 研究するとは何なのか? 化学工学 43(2), 80(1979)
3. 象を知る, エネルギー学会誌, 197 (2012)

II. 報告書

1. 石炭液化に関する反応工学的研究(第2報)-石炭連続液化装置の組立ならびに運転結果について-(守富 寛, 小野重好, 千葉忠俊, 真田雄三), 北海道大学工学部研究報告, 102, 143-153 (1981).
2. 石炭液化反応における石炭の反応性の速度論的評価(永石博志, 守富 寛, 真田雄三, 千葉忠俊), 化学工学シンポジウムシリーズ9-石炭転換の化学工学(1), 86-92 (1986).
3. 石炭液化におけるコーキング反応の速度論的評価(守富 寛, 登 超然, 永石博志, 真田雄三, 千葉忠俊), 化学工学シンポジウムシリーズ9-石炭転換の化学工学(1)-, 103-110 (1986).
4. 石炭液化反応における触媒の効果(小西博昭, 永石博志, 守富 寛, 真田雄三, 千葉忠俊), 化工シンポジウムシリーズ9-石炭転換の化学工学(1)-, 111-117 (1986).
5. Preferential Separation of Low Ash-Content Coal Particles by CO₂ Absorption and Liquid Fluidization (T. Chiba, T. Yamagishi, H. Moritomi, Y. Sanada, T. Jimba, M. Nakai, T. Osaki and Y. Katayama), Bulletin of the Faculty of Engineering, Hokkaido University, 143, 69-79 (1988).
6. Current SO_x Control Status of Fluidized Bed Boilers in Japan (M. Horio, M. Harada, H. Moritomi), IEA-AFBC Technical Meeting, Lisboa, Portugal (1990).
7. Evaluation of IEA-AFBC Mathematical Model by Using the Data from Wakamatsu 50MW AFBC (H. Moritomi, Y. Suzuki, M. Horio), IEA-AFBC Mathematical Model Workshop, Lisboa, Portugal (1990).
8. NO_x Emission and Reduction from Circulating Fluidized Bed Combustors (H. Moritomi, Y. Suzuki, N. Kido, Y. Ogisu), IEA-AFBC Technical Meeting, Lisboa, Portugal (1990).
9. N₂O Formation during Coal Combustion (H. Moritomi, Y. Suzuki), IEA AFBC Technical Model Meeting, Beograd, Yugoslavia (1990).
10. IEA 数理モデル検証に関する調査報告書(守富 寛: 1~5章), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構(バブコック日立委託) (1990).
11. IEA 数理モデル検証に関する調査報告書(守富 寛: 1~4章), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構(バブコック日立委託) (1991).
12. 流動床燃焼技術に関する研究/石炭利用における環境負荷評価(守富 寛: 実験炉における N₂O の測定結果 pp.56-63), 平成2年度石炭利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1991).
13. 流動層燃焼条件での NO_x および N₂O の排出特性に関する報告書(G.G. de Soete, 守富 寛), 新エネルギー・産業技術総合開発機構, EC 諸国の石油代替エネルギー関連研究者との共同研究報告書 NEDO-P-9082, 63-69 (1991).
14. 化石燃料利用技術に伴う CO₂ 低減システムのプロセスシミュレーションに関する報告書(B. Williams, 守富 寛), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 EC 諸国の石油代替エネルギー関連研究者との共同研究報告書 NEDO-P-9451, 47-64 (1991).
15. 流動床燃焼技術に関する研究(石炭利用における環境負荷評価)(守富 寛: 小型回分式反応装置による検討 pp.51-65), 平成3年度石炭利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1992).
16. 平成3年度自主事業トッピングサイクル加圧流動層技術の研究報告書(分担執筆), (財)石炭利用総合センター (1992).
17. 荻須吉洋, 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 幡野博之, 守富 寛, 鈴木善三, 石炭燃焼装置からの N₂O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究, 環境保全研究成果集 1991, 36.I.1-36.I.28(1992)
18. 荻須吉洋, 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 幡野博之, 守富 寛, 鈴木善三,

- 石炭燃焼装置からの N_2O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究 (環境庁企画調整局), 大気汚染防止に関する総合研究 平成 3 年度, 36.I.1-36.I.28 (1992)
19. 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島 寛, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 石炭燃焼装置からの N_2O 及 NO_x の同時抑制技術に関する研究, 荻須吉洋, 環境保全研究成果集 1992, Pt1, 31.I.1-31.I.26(1993)
 20. N_2O Formation from Char and Heterogeneous Reactions with Char and CaO (Y. Suzuki, H. Moritomi, N. Kido, M. Ikeda, K. Suzuki, K. Torigai), Proceedings of 5th International Workshop on Nitrous Oxide Emissions, Tsukuba, Japan, 245-253 (1993).
 21. 石炭燃焼技術に関する研究 (石炭利用における環境負荷評価) (守富 寛: N_2O の生成機構に影響を及ぼす燃焼方式の比較検討 pp.74-91), 平成 4 年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1993).
 22. エネルギー複合化技術開発の可能性調査 (守富 寛: 高効率化 pp. 17-37), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構平成 4 年度調査報告書 *NEDO-P-9220* (1993).
 23. MITI Activities on Coal Conversion and CO_2 Reduction Technologies (H. Moritomi), 2nd Japan/EC Experts Meeting on Minimization of CO_2 related Problems, Brussels, Belgium (1993).
 24. IEA 数理モデル検証に関する調査報告書 (守富 寛: 2 章 常圧気泡流動層燃焼モデルの改良), 化学工学会 (流動層燃焼モデル開発プロジェクト研究会) (1993).
 25. 石炭利用次世代技術開発調査・環境調和型石炭燃焼技術分野 (トッピング燃焼技術) (分担執筆) (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構平成 4 年度調査報告書 *NEDO-C-9207* (1993).
 26. Full Fuel Life Cycle Cost Analysis (H. Moritomi), IEA-GHG: Full Fuel Cycle Meeting, London, UK (1993).
 27. Advanced Coal Combustion Technologies from Global Environmental Point of View (H. Moritomi), Proceedings of 3rd Japan/Australia Joint Technical Meeting on Coal, Brisbane, Australia, 1-6 (1993).
 28. 二酸化炭素低減に関する日・EC 専門家会合報告 (守富 寛), 環境技術研究総合推進会議ニュース, 3(2), 19-25 (1993).
 29. Advanced Clean Coal Utilization Technologies (H. Moritomi), Proceedings of 2nd US/Japan Workshop on Global Change Research Environmental Response Technologies (Mitigation and Adaptation), Honolulu, Hawaii, U.S.A., 163-172 (1993).
 30. IEA 数理モデル検証に関する調査報告書 (守富 寛: 4 章 流動層条件における窒素化合物の生成・分解速度に関する研究), 化学工学会 (流動層燃焼モデル開発プロジェクト研究会) (1994).
 31. 地球環境からみた総合的化石燃料サイクル分析評価手法の調査 (守富 寛: 総合的燃料サイクル分析手法の研究動向 pp.23-51), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 平成 5 年度調査報告 *NEDO-P-9330* (1994).
 32. 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 松田聡, 村野健太郎, 畠山史郎, 東アジアにおける酸性, 酸化性物質の制御対策とその評価に関する研究 東アジアにおける酸性雨原因物質の排出抑制技術とその評価に関する研究 (環境庁企画調整局), 地球環境研究総合推進費 平成 5 年度終了研究成果報告集, 356-365(1994)
 33. 林正康, 城戸伸夫, 守富 寛, 鈴木善三, 井清武弘, 水野光一, メタン・亜酸化窒素の放出源及びその放出量の解明に関する研究 産業廃棄物からの放出量の解明に関する研究 (環境庁企画調整局), 地球環境研究総合推進費 平成 5 年度研究成果報告集(中間報告)1, 243-247(1994)
 34. 荻須吉洋, 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 松田聡, 石炭燃焼装置からの N_2O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究 1 (環境庁企画調整局), 大気汚染防止に関する総合研究 平成 5 年度, 27.I.1-27.I.21(1994)
 35. 荻須吉洋, 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 松田聡, 石炭燃焼装置からの N_2O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究, 環境保全研究成果集 1993, Pt1, 27.I.1-27.I.21(1994)
 36. 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 松田聡 (資源環境技総研) 中国向けの脱硫, 脱硝技術の検討, 溝口次夫, 久松由東 (公衆衛生院), JIAN D (Inst. Environmental Sciences, CHN), 環境衛生工

- 学研究, 8(3), 145-150(1994)
37. エネルギー複合化技術開発の可能性調査(II) (分担執筆), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 平成5年度調査報告書 *NEDO-P-9322* (1994).
 38. 石炭燃焼技術に関する研究 (石炭利用における環境負荷評価) (守富 寛: 小型回分式反応装置による試験 pp.25-42), 平成5年度石炭生産・利用技術振興補助事業, (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1994).
 39. 石炭燃焼技術に関する研究 (石炭利用における環境負荷評価) (守富 寛: ECLIPSE システムシミュレーションプログラムソフト pp.214-247), 平成5年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1994).
 40. 石炭ガス化炉内における無機成分の高温挙動に関する研究 (守富 寛: ガス化及び燃焼炉内のアルカリ成分の放出挙動 pp.77-154), (社)化学工学会 (エネルギー開発特別研究会・無機成分の高温挙動ワーキンググループ) (1994).
 41. 石炭利用次世代技術開発調査・環境調和型石炭燃焼技術分野 (トッピング燃焼技術) (守富 寛: 4.10 酸化炉の燃焼条件と脱硫挙動解析基礎データ), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・石炭利用総合センター平成5年度調査報告書 *NEDO-C-9324* (1994).
 42. Effects of Char Particles on N₂O Formation and Destruction in a Quartz CFBC (H. Moritomi and Y. Suzuki), Proceedings of 6th International Workshop on Nitrous Oxide Emissions, Turku, Finland, 263-284 (1995).
 43. Fluidized Bed Combustion as New Technology (H. Moritomi), Text of 2nd Asia-Pacific Economic Cooperation: (APEC), Experts Group on Clean Coal Technology, Training Course, Kita-Kyushu, Japan, Day-4 (1995).
 44. 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 幡野博之, 守富 寛, 鈴木善三, 松田聡, 石炭燃焼装置からの N₂O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究, 通商産業省工業技術院特別研究報告集 1995, 235-239(1995)
 45. 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 松田聡, 石炭燃焼装置からの N₂O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究, 環境保全研究成果集 1994, Pt1, 27.I.1-27.I.16(1995)
 46. 大屋正明, 宮寺達雄, 土屋健太郎, 三島寛, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 松田聡, 石炭燃焼装置からの N₂O 及び NO_x の同時抑制技術に関する研究 I (環境庁企画調整局), 大気汚染防止に関する総合研究 平成6年度, 27.I.1-27.I.16(1995)
 47. 竹中啓恭, 小黑啓介, 赤井誠, 槌屋治紀, 守富 寛, 世一英俊, エネルギー複合化技術開発の可能性調査 3 水素を機能性媒体として利用した複合化システムのフィージビリティスタディ (新エネルギー・産業技術総合開発機構), エネルギー複合化技術開発の可能性調査3 平成6年度調査報告書, 49-76(1995)
 48. 溝口次夫, 城戸伸夫, 守富 寛, 幡野博之, 鈴木善三, 松田聡, 酸性雨 東アジアの酸性雨原因物質等の総合化モデルの開発と制御手法の実用化に関する研究 酸性雨原因物質の制御と評価に関する研究 酸性雨原因物質排出制御技術の実用化に関する研究 (環境庁企画調整局), 地球環境研究総合推進費 平成6年度研究成果報告集(中間報告)2, 101-105(1995)
 49. 林正康, 城戸伸夫, 守富 寛, 鈴木善三, 井清武弘, 水野光一, 地球の温暖化(現象解明) メタン・亜酸化窒素の放出源及び放出量の解明に関する研究 産業廃棄物からの放出量の解明に関する研究 (環境庁企画調整局), 地球環境研究総合推進費 平成6年度終了研究成果報告集, 114-126(1995)
 50. 石炭燃焼技術に関する研究 (石炭利用における環境負荷評価) (守富 寛: 9.2 石炭利用システムにおける環境負荷評価プログラムの開発 pp.7-40), 平成6年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1995).
 51. 地球環境からみた総合的化石燃料サイクル分析評価手法の調査(II) (分担執筆), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 平成6年度調査報告書 *NEDO-P-9408* (1995).
 52. エネルギー複合化技術開発の可能性調査(III) (分担執筆), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機

- 構 平成6年度調査報告書 *NEDO-P-9423* (1995).
53. 石炭利用次世代技術開発調査・環境調和型石炭燃焼技術分野（トッピング燃焼技術）（守富 寛：11. 回分式装置による脱硫酸化反応特性 pp.465-472), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・石炭利用総合センター平成6年度調査報告書 *NEDO-C-9427* (1995).
 54. *Global Warming and Energy Conservation*, (H. Moritomi), Text of NEDO & ICETT Training Course, Mie, Japan (1996).
 55. 温室効果ガス低減対策技術の展望と課題（分担執筆）, (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境対策技術検討委員会 地球環境対策技術検討委員会報告書 (1996).
 56. 亜酸化窒素(N₂O)の低減対策に関する調査（分担執筆）, (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境産業技術研究機構 平成7年度調査報告書 *NEDO-GET-9503* (1996).
 57. 地球環境からみた総合的化石燃料サイクル分析評価手法の調査(III)（分担執筆）, (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 平成7年度調査報告書 *NEDO-P-9507* (1996).
 58. 石炭燃焼技術に関する研究（石炭利用における環境負荷評価）（守富 寛：環境負荷評価に必要な要素データベースの構築, pp.102-123), 平成7年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1996).
 59. 石炭利用次世代技術開発調査・環境調和型石炭燃焼技術分野（トッピング燃焼技術）（守富 寛：6.10.2 ECLIPSEによるプロセスシミュレーション基礎データ pp.177-179), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・石炭利用総合センター 平成7年度調査報告書 *NEDO-C-9503* (1996).
 60. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（守富 寛：1.1 国内外の亜酸化窒素排出量, 2.1 2段燃焼による N₂O の低減他, pp.1-8, pp.51-62), (社)産業環境管理協会平成7年度石炭利用設備設置促進調査 低減技術調査報告書 (1996).
 61. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（守富 寛：調査結果の解析他 pp.172-206), (社)産業環境管理協会 平成7年度石炭利用設備設置促進調査 実態技術調査報告書 (1996).
 62. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（分担執筆）, (社)産業環境管理協会 平成7年度石炭利用設備設置促進調査 アンケート技術調査報告書 (1996).
 63. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（分担執筆）, (社)産業環境管理協会平成7年度石炭利用設備設置促進調査 文献調査報告書 (1996).
 64. 亜酸化窒素（ N₂O）の低減対策に関する調査（守富 寛, 持田 勲）, (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境産業技術研究機構 第6回地球環境産業技術動向調査報告会資料集, 57-78 (1997).
 65. 石炭燃焼技術に関する研究（石炭利用における環境負荷評価）（守富 寛：環境負荷評価に必要な要素データベースの構築, FBC システムへの適用 pp.28-43, pp.44-58), 平成8年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1997).
 66. 亜酸化窒素(N₂O)の低減対策に関する調査(II)（守富 寛：2.1 世界の排出量 p.11-17, 3.1 燃焼関連 pp.105-115, 4章 低減対策のまとめ pp.157-166), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境産業技術研究機構平成8年度調査報告書 *NEDO-GET-9634* (1997).
 67. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（守富 寛：チャーによる分解特性及びバブリング流動層燃焼における混炭による N₂O 生成の変化, pp. II.1-40), (社)産業環境管理協会平成8年度石炭利用設備設置促進調査 低減技術調査報告書 (1997).
 68. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（守富 寛他：調査結果の解析 pp.133-161), (社)産業環境管理協会平成8年度石炭利用設備設置促進調査 実態調査報告書 (1997).
 69. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査（分担執筆）, (社)産業環境管理協会平成8年度石炭利用設備設置促進調査 アンケート技術調査報告書 (1997).
 70. 長期的エネルギー・環境技術の研究開発に関する調査（分担執筆）, (財)エネルギー総合工学研究所平成8年度調査報告書（不確実下の持続的成長に向けた意志決定） *IAE-C9629* (1997).
 71. 地球環境対策技術としてのグローバルエネルギーシステムの評価に関する調査研究（分担執筆）, (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境産業技術研究機構平成8年度調査報告書 *NEDO-GET-9639* (1997).
 72. 亜酸化窒素（ N₂O）の低減対策に関する調査（守富 寛, 持田 勲）, (財)新エネルギー・産業技術

- 総合開発機構・地球環境産業技術研究機構 第7回地球環境産業技術動向調査報告会資料集, 103-123 (1997).
73. Emission Behavior of trace Metals and hazardous Gases in High temperature Combustion (H. Moritomi, R. Yoshiie), Proceedings of International Symposium on High Temperature Air Coal Combustion, Tokyo Institute of Technology, Nagatsuda, Japan, 41-54 (1998).
 74. 石炭利用基盤技術開発 (シミュレーターの開発) (守富 寛: 石炭流動層燃焼における燃焼・脱硫・脱硝機構のモデル化), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構平成9年度成果報告書 NEDO-C-9737, 138-156 (1998).
 75. 石炭燃焼技術に関する研究 (石炭利用における環境負荷評価) (守富 寛: 環境負荷評価プログラムにおける PFBC コンポーネントの組み込み pp. 6-87), 平成9年度石炭生産・利用技術振興補助事業 (財)石炭利用総合センター試験研究成果報告書 (1998).
 76. 地球環境対策技術としてのグローバルエネルギーシステムの評価に関する調査研究(II) (分担執筆), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構・地球環境産業技術研究機構 平成9年度調査報告書 NEDO-GET-9705 (1998).
 77. 亜酸化窒素の低減対策に関する調査 (分担執筆), (財)地球環境産業技術研究機構平成9年度地球環境産業技術に係わる先導研究成果報告書 (1998).
 78. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査 (守富 寛: チャーおよび石灰石による N₂O の低減技術の基礎的アプローチ II.1-35), (社)産業環境管理協会平成9年度石炭利用設備設置促進調査 低減技術調査報告書 (1998).
 79. 石炭燃焼に伴う N₂O 発生の現状と対策調査 (守富 寛: 調査結果の解析他 pp. 163-170), (社)産業環境管理協会平成9年度石炭利用設備設置促進調査 実態調査報告書 (1998).
 80. エネルギーシステムの評価手法 (守富 寛), 日本機械学会, RC142 省エネルギー・環境制御のための熱・エネルギーシステム最適化研究分科会研究報告書, 25-35 (1998).
 81. 関西地域における石炭利用技術の動向調査(守富 寛, 他), (財)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (委託先 (財) 日本エネルギー学会), 45-49(1999).
 82. Heat Transfer between Steadily Flowing Particle Layer and Wall Surface on a Slope (Y. Suzuki, H. Hatano, H. Moritomi, K. Suzuki), International Conference on Multiphase Flow, Lyon, France, 8-12 (1998).
 83. 循環型社会エネルギー (循環型社会構築によるエネルギー需給・エネルギーシステムの革新) (守富 寛), 日本機械学会研究協力部会 RC166 資源循環及び環境親和型熱・エネルギーシステムのインテリジェント化に対する調査研究分科会, 研究報告書 I, 57-68(2000)
 84. 微量成分に対して我々は何をすべきか(守富 寛), 燃焼プロセスにおける微量成分ワークショップ(Trace Element Workshop 2000), 13-14 January, Yokohama, Japan, 1-45(2000)
 85. 微量成分に対して我々は何をすべきか II", 守富 寛, 燃焼プロセスにおける微量成分ワークショップ(Trace Element Workshop 2001), 11-12 January, Yokohama, Japan, 1-25(2001)
 86. 守富 寛, 貴田晶子, 安田憲二, 平成18年度廃棄物処理等科学研究費補助金研究成果報告「循環廃棄過程を含めた水銀の排出インベントリーと排出削減に関する研究」 国立科学研究所 (研究分担者 他) 第4章「石炭燃焼における水銀の形態別排出挙動に関する研究」, 58-72(2008)
 87. 隈部和弘, 守富 寛, 第47回石炭科学会議(岐阜)実施報告, 日本エネルギー学会誌 89(11), 1122-1124, (2010)
 88. 平成22年度木質エネルギー技術高度化事業成果報告書(2011)
 89. 倉本浩司, 鈴木善三, 成瀬一郎, 義家亮, 守富 寛, 隈部和弘, 石炭ガス化ガス中の微量成分の影響に関する調査研究, NEDO平成20~24年度分成果報告書 (2013)
 90. 澤井正和, 浜辺久, 板谷義紀, 小林信介, 隈部和弘, 守富 寛, 二宮善彦, 上野薫, 水処理汚泥を利用した水処理省エネルギー利用技術の研究開発, NEDO平成22~24年度分成果報告書 (2013)
 91. 「石炭ガス化ガス中の微量成分の影響に関する調査研究」, 倉本浩司, 鈴木善三, 成瀬一郎, 義家亮, 守富寛, 隈部和弘, NEDO平成20~24年度分成果報告書 (2013)
 92. 「水処理汚泥を利用した水処理省エネルギー利用技術の研究開発」, 澤井正和, 浜辺久, 板谷義紀, 小林信介, 隈部和弘, 守富 寛, 二宮善彦, 上野 薫, NEDO平成22~24年度分成果報告書 (2013)

93. 「リサイクル炭素繊維の低コスト省エネ再生技術の研究開発」, 守富 寛, 隈部和弘, NEDO平成22～24年度分成果報告書 (2013)
94. 「ABC(Advanced Biomass Co-gasification)次世代バイオマス液体燃料製造システム技術の開発」, 林石英, 柴田邦彦, 守富 寛, 隈部和弘, 平田悟史, 宮澤朋久, NEDO平成24年度分中間年報 (2013)
95. 「ABC(Advanced Biomass Co-gasification)次世代バイオマス液体燃料製造システム技術の開発」, 林石英, 柴田邦彦, 守富 寛, 隈部和弘, 平田悟史, 宮澤朋久, NEDO平成24～25年度成果報告書 (2014)
96. 守富 寛, 隈部和弘, リサイクル炭素繊維の低コスト省エネ再生技術の研究開発, NEDO平成22～24年度分成果報告書 (2013)
97. 林石英, 柴田邦彦, 守富 寛, 隈部和弘, 平田悟史, 宮澤朋久, ABC(Advanced Biomass Co-gasification)次世代バイオマス液体燃料製造システム技術の開発, EDO平成24年度分中間年報 (2013)
98. 林石英, 柴田邦彦, 守富 寛, 隈部和弘, 平田悟史, 宮澤朋久, ABC(Advanced Biomass Co-gasification)次世代バイオマス液体燃料製造システム技術の開発, NEDO平成24～25年度成果報告書 (2014)
99. 守富 寛, 板津秀人「省エネルギー革新技術開発事業／先導研究／リサイクル炭素繊維の低コスト省エネ再生技術の研究開発」平成23年度分中間年報(2012)
100. 守富 寛, 板津秀人「省エネルギー革新技術開発事業／先導研究／リサイクル炭素繊維の低コスト省エネ再生技術の研究開発」平成25年度分最終報告書 (2013)
101. 守富 寛, 平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金／人工鋳物砂の連続焼成再生装置の開発／鋳物砂再生機構に関する基礎的な確認, 委託研究報告書(2014)
102. 守富 寛, 「戦略的省エネルギー技術革新プログラム／実用化開発／リサイクル炭素繊維の省エネルギー連続回収プロセスの開発」平成26年度共同研究報告書(2015)
103. 守富 寛, 「戦略的省エネルギー技術革新プログラム／実用化開発／リサイクル炭素繊維の省エネルギー連続回収プロセスの開発」平成27年度共同研究報告書(2016)